

教科・科目	情報 I	単位数	2	学年・学級	1年A組
使用教科書	情 I 705 最新情報 I (実教出版)	副教材		最新情報 I 学習ノート (実教出版)	

学校教育目標		郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を 持ち続けよう						
育成を目指す資質・能力	傾聴力		協働力	◎	議論する力	◎		
	自省力		理解力	○	批判力	○		
	自己実現力		表現力	◎	情報活用力	◎		
学習の到達目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>							
評価の観点	① 知識・技能		② 思考・判断・表現		③ 主体的に学習に取り組む態度			
A 活用できる	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解し、活用できる。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用い、活用できる。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善している。			
B わかる・できる	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善の必要性を理解している。			
C 努力を要する	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解に努力を要する。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いていることに努力を要する。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善の必要性を理解することに努力を要する。			
具体的な改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・補習の実施 ・補習課題 ・確認テスト ・補習振り返りシート 		<ul style="list-style-type: none"> ・補習の実施 ・補習課題 ・確認テスト ・補習振り返りシート 		<ul style="list-style-type: none"> ・補習の実施 ・補習課題 ・補習振り返りシート 			
評価基準 (各10段階)	A	10	～	7	A	10	～	7
	B	6	～	3	B	6	～	3
	C	3	～	1	C	3	～	1
	評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技試験 ・確認テスト ・振り返りシート 		評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技試験 ・確認テスト ・振り返りシート 		評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート ・実技課題 ・振り返りシート 			

【学習計画】

月	単元	学習の目標	評価の観点			評価の方法	自己評価	実際評価
			①	②	③			
4	オリエンテーション 第1章 情報社会と私たち 1 情報社会 2 情報社会の法規と権利 3 情報技術が築く新しい社会	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの既習内容の調査とシラバスの活用について理解する。 ・コンピュータ及び情報処理室の使い方を理解する。 ・情報社会の現状と情報の特性について理解する。 ・情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 ・他人の著作物を利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ・個人情報とプライバシーについて理解し、保護する方法を身に付ける。 ・様々な情報技術を理解し、課題解決の方法を考えることができる。 	○	○	○	学習ノート 確認テスト 振り返りシート		
5	第2章 メディアと情報デザイン 1 メディアとコミュニケーション 2 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの種類、特性について理解し、目的に応じたメディア選択ができる。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 ・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ・情報を正確に、わかりやすく伝えることができる。 	○	○	○	学習ノート 確認テスト 振り返りシート		

6	【前期中間考査】		○ ○	定期考査		
7	3 情報デザインの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書やレポート、論文を作成ことができる。 ・ プレゼンテーションの手順とスライド作成ができる。 ・ Webページ作成ができる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	学習ノート 実技課題 実技試験 振り返りシート		
8	第3章 システムとデジタル化			学習ノート		
	1 情報システムの構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ・ ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 	○ ○	確認テスト 振り返りシート		
	2 情報のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・ アナログとデジタルの違い、2進数と情報量の関係、コンピューター演算の仕組みについて理解する。 ・ 数値や文字をデジタル化する方法や数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・ コンピュータでの数値の計算ができる。 ・ 音声をデジタルで表現する方法、静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 ・ 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
9	【前期期末考査】		○ ○	定期考査		
10	第4章 ネットワークとセキュリティ			学習ノート		
	1 情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信ネットワークの構成について理解する。 ・ ネットワークを効率的に利用するための取り決めができる。 ・ Webページとメールの仕組みについて理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	確認テスト 振り返りシート		
	2 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。 ・ 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 ・ 情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
	第5章 問題解決とその方法			学習ノート		
	1 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の手順、問題の発見の方法、問題を明確化できる。 ・ 解決案を検討したり、整理・分析したりすることができる。 ・ 合意形成を目指した解決案を決定することができる。 ・ 実行した解決案を評価することができる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	確認テスト 振り返りシート		
11	【後期中間考査】		○ ○	定期考査		
	2 データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトを活用することができる。 ・ データを収集したり、整理したりすることができる。 ・ データを適切なグラフや図に表現することができる。 ・ データ分析の手法について理解する。 ・ データベースの種類とその仕組みについて理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	実技課題 実技試験 学習ノート 振り返りシート		
	3 モデル化	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル化の意味、モデル化の分類について理解する。 ・ モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成できる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○			
	4 シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ シミュレーションの意義を理解し、確率的モデルのシミュレーションを行うことができる。 ・ 問題解決のためにシミュレーションを活用することができる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○			
1	第6章 アルゴリズムとプログラミング			学習ノート		
	1 プログラミングの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルゴリズムを用いてプログラムを表現することができる。 ・ プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	確認テスト 振り返りシート		
2	【学年末考査】		○ ○	定期考査		
3	2 プログラミングの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変数を使用したプログラムを作成することができる。 ・ 関数を使用したプログラムを作成することができる。 ・ 多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成することができる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	実技課題 実技試験 学習ノート 振り返りシート		

📌 最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度